

# 「社会環境」がまるで変わり、「健康環境」もまるで変わりました ～ 真の「知的ビジネスパーソン」は『最新の健康知識』を新たに学んでいます～

「知的ビジネスパーソン」が、なぜか健康に関しては“知的ではない行動”をしている。—— 自称「健康に気を遣っているビジネスパーソン」が、「一日分の野菜ジュースで野菜不足を解消する」／「仕事の前にエナジードリンクで気合いを入れる」／「会議で頭が疲れたら缶コーヒーで一服する」… といった、“間違った健康知識”で日々“生活習慣病になる努力”をしている

「太く／短く生きるから、糖尿病なんてどうってことないさ」と豪語していた男性が、その後、“人工透析”になってしまい、1日おき／5時間の辛さに耐えられず泣きわめくことに。あるいは、“MCI”（＝軽度認知障害）から“認知症”に移行して、家族に多大な迷惑を掛けることに。—— 「太く／短く生き、潔く死んでいく、なんてことは簡単にはできない」というのが現実である

2023年 日本を代表するメガバンクグループの社長が膵臓癌で急遽亡くなりました（65歳）。—— グループに先端の総合病院を抱え、人間ドックを受けていたはずなのに、なぜ、「早期発見・早期治療」ができなかったのでしょうか？ この膵臓癌は他の癌に比べ、極端に生存率が低いので、別名「癌の王様」と呼ばれていますが、星野仙一（70歳で死去）／千代の富士（61歳）／坂東三津五郎（59歳）やスティーブ・ジョブズ（56歳）など、数多くの有名人が無念にも、人生レースの途中で命を落としています

BST  
コメント

『人生100年』の時代を迎え、私達「現役世代」は「健康寿命100歳（＝男性95歳／女性100歳）にチャレンジする」という新たな課題を抱えています。そのため「知的ビジネスパーソン」が最も重視すべきなのは、売上の拡大でも／新規取引先の開拓でもなく、『最新の健康知識』の基本のキを新たに学び、『健康寿命100歳』にチャレンジすることです。—— そうしないと、いくら高い地位や／多額の収入を得ても、最も大切な『健やかで／幸せな人生』は得られず、不本意な人生となってしまいます